科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨地実習Ⅲ （保健所・保健センター）	３年次	選択	実習	１単位（45時間）	真島　和徳

授　業　概　要

新潟県内の保健所（地域振興局）、市町村において、その地域や職域等における保健・医療・福祉・介護システムの栄養関連サービスに関するプログラムの作成・実施・評価を総合的にマネジメントする能力を養うための、実践的かつ総括的な実習科目である。

総まとめとして、実習報告会を学内にて実施するため、地域・職域の公衆栄養活動について、保健所や市町村で行われている企画から実施・評価に至る一連の流れについて実習を通じて総合的に理解を深める。

到　達　目　標

・「健康増進法」や「食育基本法」等の法律に基づいて、「健康日本２１」「食育基本計画」等の国の施策が、地方公共団体で計画、施策化、実践されていることを知り、その重要性を理解する。
・地域診断の結果から地域の優先的な健康・栄養課題を明確にし、課題の解決に向けＰＤＣＡサイクルに基づいた政策について理解する。
・一次予防を目的とした地域住民の主体的な参加の重要性と難しさに気づく。また地域における他職種、多領域と有機的かつ効果的な仕組みづくりを知る。等

実習の報告会を実施し、保健所業務及び市町村保健センター業務の内容を幅広く理解し、説明できること。

実務経験のある教員

回	学　習　内　容	担当教員
1-30	事前教育　実習ガイダンス（２年次12月より履修説明の後、履修希望調査を行い、３月上旬までに履修者を決定。協議会でまとめ、県庁に申し入れる。） 実習の目的、目標などの理解 臨地実習概要説明、実習開始や期間中時の注意事項 保健衛生・公衆栄養学活動の説明を行う。　県内合同実習前ガイダンス有。 臨地実習（10月中の５日間） オリエンテーション 保健所の概要：組織及び機構、各課の業務 保健所の年間・月間計画と業務の実際、評価、各所統計資料について 管内の概要：市町村健康づくり・栄養業務の実際 市町村間の連絡調整の実際 保健所業務の実際（難病、精神障害者社会復帰、地域組織の育成、給食施設の指導など） 市町村業務の実際（妊婦健診、乳児検診、高齢者保健事業等） 公衆栄養活動の実際　　まとめ、報告書の作成 事後教育 活動成果の報告と討論　　臨地実習報告会	真島　和徳

学　習　方　法

保健所（県）、保健センター（市町村）において年間事業計画があり、それに基づき５日間の実習が行われる。先に提示される実施事業内容について把握し、実習前課題を終了しておくこと。実習期間中は施設側指導者の指示を仰ぎながら積極的に実習に参加し理解を深める。実習後は、内容を整理し振り返ることによって、１・２年生へ分かり易い報告ができる。

評　価　方　法

ガイダンスと事後教育（報告）はすべて出席のこと。
実習先評価(新潟県養成校協議会の統一評価票)を重視し、実習報告までを踏まえ、総合評価とする。

先　修　科　目

医学概論、生化学Ⅱ、基礎調理学実習、食品衛生学、給食経営管理論Ⅰ、給食経営管理論Ⅱ、給食経営管理論実習、臨床栄養学Ⅰ、臨床栄養学Ⅱ、臨地実習導入教育、公衆衛生学Ⅰ、公衆栄養学Ⅰ、栄養教育論Ⅰ、栄養教育論Ⅱ、応用栄養学実習

教科書、参考書

〔教科書〕公衆栄養学臨地実習用ノート：北里大学保健衛生専門学院オリジナル
〔参考書〕管理栄養士課程「栄養管理と生命科学シリーズ」公衆栄養の科学（大和田浩子・中山健夫編著：理工図書）　国民・健康栄養調査報告（健康・栄養情報研究会編：第一出版）食事調査マニュアル（日本栄養改善学会監修：南山堂）など